



座間小キャラクター
ざまたん

校長のつぼやき^{ぶ?}

座間市立座間小学校
校長 石田 正行

日頃、気づいたことなどをちょっとずつ、つづやいていきたいと思います。時にはぼやきになってしまうかもしれませんが、なのでつぼやき…。

たねまき



花壇の土を柔らかくしたり、植木鉢に土を入れたり、と、種まきの準備が始まりました。

大きなスコップで一生懸命に花壇を耕す子に、「何の種まくの?」と聞くと「なーんにもまかなーい。」との返事。まわりにいた子たちから一斉に「そんなわけないだろっ!」と突っ込まれていました。どんな花が咲くのか、今から目がはなせません。

1 年生はアサガオの準備です。次の日から早速水まきに余念がありません。「水まきごくろうさま」と声をかけると、「今日はあついから、た一つぷりあげましたあ。」と、汗だくで水やりに没頭しています。こちらも楽しみです。



熱中症対策が始まりました。左の写真が湿球黒球温度計で WGBT を計測します。写真では分かりづらいですが、機械の頭に黒い球がついています。

WGBT とは、熱中症予防のために用いられる指標で、温度・湿度・輻射熱を考慮した値。値が高いほど、熱中症リスクが高まります。この値をもとに、運動の制限等を判断します。



運動の制限等を判断します。

右の写真はミストシャワーが出る棒? です。屋外 3 か所に設置してあります。先日テストで水を出していましたが、あっという間に人だかりができていました。私が子どもの頃には考えられない暑さを記録する日があります。暑い日にはよく熱中症警戒アラートが発令されます。この近辺では、海老名市が基準になって発令されることがあります。したがって、発令されても学校での計測とは差が生じることがあります。学校での計測値をもとに判断します。

私が学校に勤めだした頃は、暑さ対策のものは何もありませんでした。それでもなんとか耐えたからです。ただ暑がりな私は独自に扇風機を置いて授業していました。

その後、教室の天井に扇風機が設置されました。画期的でしたが、プリントが飛ばされるので、子どもたちはその対策に必死でした。

扇風機効果も長くはもたず、熱い空気が循環するだけの時代が続きました。エアコンがついたときは歓喜したものです。しかし今、そのエアコン効果も追いつかないほど暑い日があります。子どもや先生の健康を考えると暑さ対策は喫緊の課題です。

水筒を持参するのも今では当たり前ですが、以前は遠足の時くらいで嬉しかったものです。